



平成 18 年 4 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ ッ ド マ ン  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 本 明  
( JASDAQ ・ コード 7535 )  
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 余 語 岳 仁  
経 営 企 画 室 長  
電 話 番 号 052-774-4350

## 当社とブルーメンブランズ社との全世界対象ライセンス契約締結のお知らせ

当社及び当社米国子会社アバンテックヴァスキュラー社は、平成 18 年 3 月 22 日付で、ドイツのカーボンナノ構造複合素材の研究・応用開発会社であります Blue Membranes GmbH(CEO Sohél Asgari、以下ブルーメンブランズ社)と、ドラッグエリ्यूティングステントの次世代コーティング技術の共同開発及びライセンスリングにつき、全世界を対象とする契約を締結いたしましたので、ここにお知らせいたします。

### 記

#### 1. ライセンス契約の目的

当社は、循環器分野（インターベンショナル・カーディオロジー）で使用される血管内治療用および検査用カテーテルの輸入、開発、製造、販売を中心に事業を推進してまいりました。特に、近年は最先端技術を使用したデバイスを自社開発するために、平成 14 年に米国企業アバンテックヴァスキュラー社を買収し、ドラッグエリ्यूティングステントの開発に注力してまいりました。

現在、世界中の血管内治療用デバイス市場において、ドラッグエリ्यूティングステントは急速に浸透しておりますが、世界中で既に販売されているドラッグエリ्यूティングステントにおいて薬剤をコーティングするために用いられているポリマー自体が、人体に悪影響を及ぼす可能性があるとの研究結果が国際学会において多く発表され始めています。

ブルーメンブランズ社は、カーボンナノ構造複合素材を様々な用途に実用化するための応用研究・開発を専門に行っている最先端技術志向の会社であり、当社では、ブルーメンブランズ社のカーボンナノ構造複合素材を薬剤コーティングに応用することで、ポリマーを用いない薬剤コーティング方法を採用した次世代ドラッグエリ्यूティングステントを世界に先駆けて上市できるものと期待しております。

#### 【ライセンス契約の内容】

- ( 1 ) 内容 全世界を対象とした技術ライセンス、製造、販売に関する契約
- ( 2 ) 契約品目 ドラッグエリ्यूティングステントのコーティング
- ( 3 ) 契約期間 平成 18 年 3 月 22 日から当社の解約申入れによる契約解除まで

## 2. ブルーメンブランズ社の概要

- (1) 名称 Blue Membranes GmbH
- (2) 主な事業内容 カーボンナノ構造複合素材の応用開発、バイオテックエンジニアリング、化学処理技術
- (3) 設立年月日 2000年8月
- (4) 本社所在地 ドイツ ウェイスバーデン
- (5) CEO Sohéil Asgari

以上

### (ご参考)

カーボンナノ構造複合素材を用いてステントをコーティングすることで表面にナノポーラス(10億分の1mの微細孔)を形成し、そのナノポーラスを利用して薬剤の浸透、除放することが出来ます。

右に掲げるテストコーティングの画像に示すとおり、約  $5 \times 2.5$  ナノメートルの微細孔が形成されていることが確認できます。

カーボンナノ構造複合素材を応用したコーティング技術を用いることで次のような利点が見込まれています。

- 生体適合性が非常に高い
- 塗布する薬剤の種類に制約がない
- 薬剤のリリースを制御しやすい
- コーティングの表面強度が強い
- 加工が容易である

